

<様式3>

事業計画書要旨

(施設名：群馬県民会館（愛称：ベイシア文化ホール）)

1 申請者名	群馬舞台芸術振興会
2 管理運営方針	群馬県民会館の管理業務を遂行するにあたり「芸術文化の創出と提供」を目標とし、人々に夢と感動を与えると共に、群馬の芸術文化の普及と振興に努め、お客様に対して質の高いサービスの提供を目指す施設運営に取り組むことはもちろん、施設の魅力を最大限に活かした効率的な運営を図ります。
3 サービス等を向上させるための取組	利用受付サービス、事業の企画力や舞台技術力、運営手法など、お客様のニーズに対応できる文化施設にするとともに群馬県内の文化団体、地元自治会、地域の学校等と密接な連携を図り、芸術文化を通じて県民の心と体の健康の実現に寄与できるよう取り組みます。
4 利用者を増加させるための取組	創造・交流の場として様々な公演情報を提供できるよう取り組みます。また、県民のみなさんの文化活動の支援、地域伝統文化の発掘・育成への支援などを積極的に進めると同時に最新のステージ演出効果（プロジェクションマップ等）を取り入れ、リピーター増につながるサービスを目指します。
5 施設・設備の維持管理及び修繕の取組	法律で定められている業務（自家用電気工作物保安管理業務・消防設備保守点検業務・エレベーター等）及び特殊性を要する業務は、原則として委託で対応いたします。委託先の選定にあたっては、業務実績・業務遂行力・業務委託経費を勘案し精査のうえ選定いたします。また、業務を行うにあたり「作業工程表」及び写真撮影等による「作業報告書」の提出を義務づけ、作業終了後責任者との履行確認を行います。
6 地域団体(住民)との連携や地域貢献への取組	県文化協会や芸術文化団体、地元の企業、近隣の館や助成団体など、様々な団体とネットワークを持つこと、学校でのアウトリーチ事業の取り組みなど、今後もこれまで以上に地域との連携を積極的に進めることを計画いたします。
7 環境保全に対する取組	事業関連ではチラシ、ポスター等の期限切れ宣伝材料はリサイクル資源として扱います。貸館事業としては、利用が済み次第省エネの観点から閉館時間を早めることに努めたいと考えます

8	年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	合計
収	総収入	213,886 千円	213,886 千円	213,886 千円	213,886 千円	213,886 千円	1,069,430
支	内訳	指定管理料	123,886 千円	123,886 千円	123,886 千円	123,886 千円	619,430
計		利用料金	80,000 千円	80,000 千円	80,000 千円	80,000 千円	400,000
画		寄付金	10,000 千円	10,000 千円	10,000 千円	10,000 千円	50,000
書		その他					
	総支出	213,886 千円	213,886 千円	213,886 千円	213,886 千円	213,886 千円	1,069,430
9	自主事業	<p>会館における自主事業とはまさに会館の顔といえます。と同時に自治体の姿勢をも映し出すものといえます。県民会館の「民間ベースでは実施することがむずかしい、当代一流の芸術を鑑賞する機会を提供いたしたい。」（県民会館 20 周年記念誌より）という事業理念は群馬の芸術文化の歴史そのものといえます。かつては世界最高峰といわれた、「ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団」、世界のオザワと謳われる「小澤征爾指揮ボストン交響楽団」、20 世紀最高の歌姫アグネス・ヴァルツァのオペラ「カルメン」など国内外の優れた音楽、舞踊、演劇などの舞台芸術を鑑賞する機会を提供すると同時に「交響詩曲ぐんま」（県民会館職員であった鈴木比呂志氏作詞による）という群馬の音楽史に残る名作を生み出したのも県民会館なのです。時代は変わっても芸術に触れたいという思いはなくなるものではありません。それどころか県民はその機会を待ちわびているといえます。今年 9 月に開催される群馬県民オペラ「蝶々夫人」。まさに県民ニーズの確固たる証拠といえます。指定管理者制度による気持ちの萎縮は全国の会館で見られる光景ですが、指定管理者は県民ニーズに応じてこそその管理者なのです。そのことを踏まえ、今一度自主事業という会館の真の姿を示していきたいと考えるものです。</p>					
10	管理運営体制 (組織及び人員の 状況、障害者雇用 の状況)	<p>利用者の安全を第一に考えた人員配置をいたします。特にホールの舞台上は注意を怠ると重大な事故につながりかねない設備の操作や作業が数多くあります。全てを主催者任せにはせず、職員が搬入から搬出まで安全確認の注意を払いホール設備、操作、管理を行います。</p>					
11	その他	<p>県民のニーズに応えるためには、芸術作品のみならず多様なジャンルの催しを実施していかなければなりません。そのためには民間音楽事務所との協働による事業実施を推進していくことが重要と考えます。</p>					

注 1 申請書受付期間終了後、群馬県ホームページで公表します。

2 A4判2枚程度で事業計画書の該当項目を要約すること。

3 自主事業を行う場合は、収支計画書欄に自主事業を合算した数値を記載すること。